

オンライン、イベント バーチャル休み時間、式典

アメリカ合衆国・ユタ日本語補習校

1 前提

学校環境

- » 2011年開校。児童生徒数は110人前後。
 - » 幼稚部3クラス（年少、年中、年長）と小学部6クラス、中学部3クラス 計12クラス
 - » 授業日数：年間37日
 - » 開校日：毎週土曜日9時始業12時まで（幼稚部・小学部・中学部共通）
 - » 教材：日本で使用されている教科書と副教材
- コロナ禍において全校オンライン授業を実施していた。但し、小学部についてはオンライン授業とプリント学習（家庭学習）を併用した。

課題と目標

オンラインでも通常の補習校活動と同じような対応ができるもしくは近づけることを目標とする。

2 実践の内容

活用したICTツール

- » Zoom

具体的な活用方法

- » 週1回のバーチャル休み時間（バーチャル・プレイデート）
呼び名は学年によって変わるが、授業以外に児童生徒同士がつながれる場をZoom授業と同じリンクを使って提供。目的は学習以外に児童生徒同士が交流し、横のつながりを感じられること。
保護者が当番制で活動をリードしたり（主に低学年）、児童生徒同士が自由におしゃべりやZoomでできる遊び（しりとりや絵を描いて見せあってあてっこする等）を考えながら参加するなど（主に高学年）、クラスによって内容は異なる。曜日と時間を決めて、毎週、自由参加。
- » バーチャル終業式
小中学部合同で1学期最終日には、バーチャル終業式に挑戦した。1世帯1端末で1つのZoom教室に全員ログインし、約50世帯ほどの全児童生徒と保護者が一斉に集まって、リモート授業をみんなでがんばったね！やってよかったね！と言って1学期を締めくくることができた。

3 成果

ICTツールを活用したことでできるようになったこと

※ 2020年8月24日 ユタ日本語補習校 Facebook より。



ユタ日本語補習校

2020年8月24日

<2学期のリモート授業が始まりました！>

午前9時、4年生のZoomのクラスログインに全校生徒がログインをして、2学期始業式に参加。校長先生のお話を聞き、それぞれのZOOMのクラスへログインをし直して、朝の会、そして授業開始。

今年度4月より始まったリモート授業、先生方も夏休み中の研修に加え、いろいろな準備をしての2学期初日。

小学3年生のクラスでは、夏休みの宿題だった絵日記を先生が画面シェアしながら、それぞれの生徒が元気に夏休みの出来事を発表。

国語の時間には、身の回りで見つけた夏を感じるものや、身の回りの「仕事（職業）」についての意見交換をし、算数の時間は「1億までの大きな桁の数字」の勉強をしました。

画面越しに先生の説明を聞き課題を取り組んだり、ZOOMの操作も慣れてきた3年生。2学期もこの調子で頑張りましょう！

このような記事からコロナ禍でも当初よりできる限りZoomを用いてコミュニケーションをはかってきたことで2学期以降も抵抗なくZoomを用いて補習校活動が機能していたように思う。